

第2回上下水道モニター会議を開催

■保呂羽浄水場、佐沼環境浄化センターの施設見学

10月5日に開催された「第2回上下水道モニター会議」では、保呂羽浄水場（水道施設）と佐沼環境浄化センター（下水道施設）の施設見学を実施しました。

保呂羽浄水場では、北上川から汲み上げられた水が、どのように浄水され、水道水として供給されるのかという工程を、実際のろ過実験等も交えながら、施設の職員から説明を受けました。

また、佐沼環境浄化センターでは、各家庭、工場などから排出された汚水が、どのような処理を経て再び川に戻されているのか、実際に現場を見ながら職員より説明を受けました。

特に、水に溶けにくいウェットシートや、油類を下水道に流されるケースが増加しており、下水道管路の詰まりや、ポンプの故障が多発していると職員から話があり、下水道の適正な使用について啓発が必要だと、モニター一人一人が認識しました。

<保呂羽浄水場見学の様子>



<佐沼環境浄化センター見学の様子>

